



**会長** 小野寺 伸 浩  
**幹事** 及 川 昭 宏  
**会報** 猪 股 育 夫  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2778回例会 2021.5.20 No.35

### 本日の出席率

・本日の出席率 67.44%

### ニコニコボックス

- ・小野寺伸浩会長 みなさんに会えてうれいす。菅原文之会員のスピーチ、よろしくお願いたします。
- ・關孝会員 この度、登米市議会第8代議長に就任致しました。今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願いたします。
- ・飯塚仁哉会員 關孝会員には、此度登米市議会議長に就任されお芽出度うございます。4年後市長にノミネートされますね。隣人の菅原文之会員のスピーチ期待していますね。
- ・菅野幸一郎会員 皆さんと久々にお会い出来ることを楽しみにしておりました。關孝会員の議長就任おめでとうございます。
- ・遠藤光則会員 皆さん、お久しぶりです。關会員、市議会議長ご就任おめでとうございます。
- ・村上武彦会員 布施孝之氏の死去を悼みます。コロナもようやく収まりつつありますね。もう少し頑張りましょう。
- ・佐々木崇会員 地方金融リストラ、要注意
- ・佐藤幸一会員 コロナの早い収束を願っております。変異株に感染しないよう頑張りましょう。
- ・江川元徳会員 Long time to see、お久しぶりです。皆さんお元気ですか！健康第一。
- ・八谷郁夫会員 菅原文之会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅原文之会員 みなさん、しばらくでした。運悪くスピーチに当たりました。夢の中でも聞いてください。
- ・佐藤静市会員 小野寺会長、コロナ関係で会の運営大変ご苦労様です。久々の例会、本日は菅原文之会員のスピーチ！待ちに待っておられた事と思います。雄弁家の菅原スピーカーのお話を聞くこ

とが出来ず残念です。来週のレポートを楽しみに。

- ・熊谷敏明会員 皆様おひさしぶりです。菅原文之会員のスピーチに期待します。
- ・菅原慶一会員 菅原文之会員のスピーチに期待して。
- ・二階堂恭子会員 しばらくぶりの例会、今日のスピーカー菅原文之会員、何の話かすごく楽しみです。
- ・及川昭宏幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
千葉吉男会員 佐竹孝行会員 佐々木源悦会員  
岩瀬正彦会員 武川毅会員 杉田広仁会員  
千葉正宏会員 森田峯男会員  
以上、ありがとうございました。

### 会長要件 小野寺伸浩会長

お久しぶりです。皆様お変わりなかったでしょうか？

4月の例会は全休、5月も前半2回はWebのみでの開催でした。本日から通常総会+Webのみでの開催となります。

4~5月を振り返りますと、4月に予定されていた地区大会は中止、2021-2022年度地区研修・協議会はオンラインでの開催となりました。また、来月ではありますが国際大会(台湾)もオンラインでの開催となります。コロナ対策の優等生と評価されていた台湾でも感染が広がりつつあり、賢明な決断と言えそうです。

話は変わりますが、高橋利光会員が網膜剥離となり東北大学病院に入院されております。ベットでうつぶせ寝を強要されているようです。うつぶせ寝では熟睡できないので寝ないことに決めたと豪快なことを言っていましたので多分元気だと思います。昨日、佐藤哲弥会員から退院が近いことを聞きました。退院後も絶対安静になりますので、早期の回復を祈念いたします。

登米市を舞台にNHK連続ドラマ「おかえりモネ」の放送が始まりました。仕事柄他県の方と話すことが多いのですが、「登米市」を一回で読んだ方はほとんどおらず、「とまいし」迫町は「さこまち」と、これ

を訂正するところから会話は始まります。このドラマを機会に日本国の皆様に登米市の読み方が周知されることを希望する次第です。

最後に、今年度ももうすぐ終わりとなります。残り少ない例会を丁寧に実施していきたいと考えています。

### 幹事報告 及川昭宏幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より  
委嘱状が届く
- ・川崎大師RCより、会報が届く

### ◎「委嘱状」の伝達

佐々木源悦会員 地区米山記念奨学会委員



佐々木源悦会員へ、委嘱状の授与

### 今週のスピーチ

#### 菅原文之会員

コロナがはやっておりますので、それに関する話もいたします。資料等ありませんので科学的なものでもありませんのであしからず。

「世の中」又は「時代」は繰り返すと言います。今私達をふるえ上がらせている目に見えない敵、コロナが私達の周囲で猛威をふるっております。この科学、医学の進んだ時代、何一つ有効な手だてを取れず困っております。

この地域でもひと昔前、今から遡ること240~260年、世に言う天明・天保の大飢饉が東北地方を襲いました。一概に大飢饉と言っても調べると順序があります。段階を追って徐々に疫病の流行となっていきます。今に通じる事が多々あるのですね。

最初に現れる現象は、自然災害から端を発する気候の大変動です。地震、雷、噴火、津波等の自然災害、それに伴う気候の変動、暑くなったり急に寒くなったり、大雨になったかと思うと1滴も降らなくなったりと今迄の予想では対処が全く出来ない状況に追い込まれます。その後に襲ってくるのは、私達が今経験している新型コロナウイルスではないが、細菌による飢饉疫病の大流行である。コレラ、エキリ、セキリの大発生である。衛生状態の悪いところで発生し、コロ、コロと多くの人々が死んでいくのでコロリと言われていました。各村の死亡率は30%で3人に1人が死んだ計算になります。米谷あたりでも大体260名が亡くなったと言われており、私家も一人死んでおり、女の人で寂さ、とのみ書かれており、焼かれたものと思われま。ほとんど記録が残っておりませんがそういった凄惨なことがありました。

登米町に龍源寺と言うお寺があり、このお寺だけに過去帳に檀家の犠牲者の数が載っており、それによりますと、天明2年100名、3年143名、4年710名、計953名となっております。誰がどの様に亡くなったかということは書いてありません。全体の人口は分かりませんが、とよま村(寺池村)で3年の間に1,000名近い人が死んだということです。

疫病は自然災害から端を発してと言いましたが、もう少し詳しく言えば、天明年間(1780年~)に起った気候の大変動に端を発した作物の不作は、冷害等が原因で凶作へとなっていきました。不作・凶作と続き食べる物がなくなったところから体力がなくなり、衛生面が極端に悪化し疫病の流行となっていきました。天明年間で収まらず天保年間まで続いたこの大飢饉は、現代に何を教訓として残しているのでしょうか。

当時、医学的進歩の全くない時代、村の人達はこの目に見えない敵とどの様に立ち向かったのでしょうか。これに取り組んだ人達がおります。指揮をとったのは飯塚仁哉会員宅の先祖です。お医者さんです。病院はないのでお寺が代用されたのでしょうか。労役として村役人が動員され、死人と患者の分別をして運搬し、今の米谷工の自転車置場付近と冷松寺の門前の2ヶ所で死人とその家財道具の全てを焼きつくしました。一方で地域を城内の地域に限定し分散を防ぎました。感染者と非感染者の隔離を実施し域内に入れて、冷松寺・東陽寺の2つのお寺で城内地区にて隔離する。

長期の戦いが続く中、持続化のため付金を出し合っ、それを分配し急場をしのぎました。私の家からも15両付金したそうです。又、犠牲者を弔うため秋には東陽寺が北上川で灯籠流し、冷松寺が北上川河川敷で施餓鬼法要が行われます。

私の家に昔からの言い伝えとして語り伝えられてきた事があります。土手の上に立っている大きな石の湯殿山を立てた事、その大石を綱で大沢と言う所から引っ張って来た事。湯殿山は水の神様で、水飢饉の時にお祈りします。これは、困難の中で生きている人たちの士気を上げるためと15両のお金がかかった事、それを出した事、それに加わった人達が中心となって村の再建に努めた事、その名前が石の裏面に全員書かれている事。その事を後世に伝えるべく裏面を使って書いた人が、隣りの大場さんの祖で大場景州と書いてありました。天明・天保年間に対策を考え実施し、この目に見えない敵と戦った約80年。今起きている事と昔起きた事を重ね合わせて考えれば、進歩とは何か？ 科学とは何か？ 医学とは何か？ を考えさせられます。

私が話していることは、昔のことだと思われるでしょうが、飯塚家の先祖が何が起っているのか、そして的確な判断をし指揮をとったのは、少し前のことです。

どの様な時代でもその組織・集団・国家の命運を分けるのは、仲間を一人でも助けようとする気概と信念、何事にも左右されない蛮勇を振り強力なリーダーの存在ではないでしょうか。

— 紙面の都合上、一部割愛させていただきました。